

## 大社中学校教育環境整備事業校舎改築推進委員会（第2回）議事録

■日時 令和6年（2024年）9月30日（月） 13時30分～15時00分

■会場 大社中学校 新会議室

■議題 校舎改築事業基本計画（案）の説明

■議事

### 1 前回のおさらい

#### <説明内容>

- ・ 神原小学校の体育館の改築は、築80年を迎える令和21年頃になる見込み。
- ・ 施設の複合化については、神原小学校の児童数、大社中学校の生徒数が減少した際に、空き敷地を利用した複合化を行うことに最大の効果が得られると見込まれたため、約30年後の神原小学校の改築時に実施する。

### 2 配置計画（案）

#### <説明内容>

- ・ 既存校舎跡地に新築するA案、テニスコート跡地に新築するB案、下段グラウンドに新築するC案の3種類の中で、市内部で検討した結果、A案を進めるのが適切と判断した。
- ・ A案は、仮設校舎が必要なものの、他の案よりも整備面積を抑えることができるため、インシヤルコスト・ランニングコストともに最も安くなる見通しとなった。また、校舎配置が現況とほとんど変わらないため、住宅への騒音・振動の影響も小さく、今ある景観を残しやすい点から、A案が最適な配置であると判断した。
- ・ 西宮市には改築時に施設総量を縮減するという方針があるため、現況の諸室で稼働率が低い諸室や余剰がある諸室については、部屋数や面積を減らした計画としている。
- ・ 正門から体育館方向へ大通りを造成し、工事期間中の工事動線と生徒動線を分離し、工事完了後も生徒動線として活用したり、神原小学校の体育館改築の際の工事動線としたりすることを想定している。

#### <質疑応答>

委員：北門は現況のまま、工事車両、給食車両、生徒動線に利用するのか。

事務局：北門は現況のまま、工事車両が通行する際に生徒動線を分散させる想定とし、時間帯によって動線調整は可能と考えられ詳細は今後検討とする。

委員：工事ステップ2の正門からの生徒動線について、甲陽園線沿い法面の法肩をルートとしているが幅員はどの程度確保できるのか。

事務局：最短箇所です約2m程度確保できる想定である。

委員：普通教室の面積、天井高は現況と同じか。

事務局：面積は概ね同じ（現況：66.6㎡、改築：68㎡）、天井高は現況より低くなる。

委員：大通り造成を行う場合、現況と同じく大通りに駐車するのか。

事務局：改築後の駐車場候補地として西棟北解体後の跡地に駐車場を設けることも可能。

委員：現況の大社中学校プールの跡地の、大通り南西側の空きスペースは活用できないのか。  
事務局：高低差が大きいため難しいと考えるが、検討できる可能性はある。  
委員：その場合、造成する大通り（以降、南東側大通り）のみのスペースとなるのか。  
事務局：空きスペースは植栽の整備を考えている。  
委員：南東側大通りの使用は工事終了後閉鎖するのか。  
事務局：出入口に門を新設（以降 東門）して管理可能な状態とし、最終的な活用の判断については学校側によるものとする。  
委員：工事車両の進入経路は、東門から進入か。  
事務局：基本的には東門から進入する。  
委員：工事車両が進入できる幅員なのか。  
事務局：軌道図を作成して検討を進めているが、概ね通行可能と思われる。  
委員：大沢西宮線から東門まで道路が渋滞しやすく、通行不可に思えるが、工事着工前に近隣住民や保護者への説明を行うのか。  
事務局：条例で定められた協議をもって近隣説明を行う。  
委員：工事期間中の駐車場はどこになるか。  
事務局：検討中につき、次回以降提示する。  
委員：北校舎の天井高は改築校舎の天井高より高いか。  
事務局：北校舎は約3mであり、改築校舎より高い。  
委員：改築完了後、大通りから校舎への動線にスロープは設置しないのか。  
事務局：西側の大階段とエントランス付近の大階段の間にスロープを設けている。  
事務局：大通りに接続可能な地下1階の一部にエントランス空間を設けており、EVで昇降でき運搬及びバリアフリー動線を確保したプランを計画している。  
委員：プールの改築位置は暫定的に検討したのか。  
事務局：テニスコートの面数を確保する等を考慮した際に、現在の想定位置に至った。  
委員：改築後のプールの想定位置が職員室から距離が長いのは問題ないのか。また、その場合緊急用の電話を引くなどの対応は可能なのか。  
事務局：プール改築については市内部で民間利用の議題も上がっており、今後の検討結果次第ではプールの廃止も考えられる為、p.3の配置図の中学校プールは想定位置である。また、電話を引くことは可能である。  
委員：プールの建設はどの程度時間がかかるものか。  
事務局：仕様によるが1年ほどかかると考えられる。  
委員：屋上に設けるなどは考えているのか。  
事務局：市政策上、設けない方針で検討している。  
委員：小学校プールを中学生が使用するのでは問題ないか。  
事務局：問題ないと考えられ、小学校プールを中学生が使用した事例もある。  
委員：神原小学校のプールと体育館は、大社中学校のものを譲渡されたものであり、プールの利用については問題ないと考えられる。

委員：普通教室から体育館までの生徒動線は確保できているか。

事務局：昇降口側の階段室を利用し、改築棟 1 階ホールを介して接続する渡り廊下を渡り、体育館 2 階に向かう現況と同様のルートを確認している。

委員：マンホールトイレや緊急貯水槽の設置又は給水ルートは確保しないのか。

事務局：改築工事に合わせて整備を行うものとする。

委員：メタセコイヤの残置について、工事を行う上で伐採する分には致し方ないが工事の影響に及ばない下段運動場のメタセコイヤは残した方が卒業生等からの理解を得られるのではないか。

委員：新たにメタセコイヤを植樹するなど、古今の繋がりになるものがあつた方がよいのではないか。(伐採したメタセコイヤについてはベンチ、クラス表示等に代用するなど)

事務局：伐採したメタセコイヤについては上記のように代用する方策を検討する。

委員：芝生広場とシンボルツリーをメタセコイヤとする場合、管理することが難しい。現況もメタセコイヤの落ち葉によって雨漏り等の施設設備に支障をきたしている。

事務局：シンボルツリーについてはメンテナンスも考慮した樹種を検討とする。芝生についても管理を考慮して検討する。

委員：倉庫はどこに位置しているか。

委員：地下 1 階の階段横のスペースに設けている。

委員：コピー用紙の管理をすることを考慮し、印刷室横に配置してほしい。

事務局：配置の入れ替えを検討する。

委員：体育館 1 階の諸室は現況のままか。

事務局：現況のままとする。

委員：恒久仮設にも独立した昇降口があるのか。

事務局：単独運用を考慮した出入口を 1 カ所検討、また北校舎との接続は、1 階はスロープを介して北校舎のレベルに到達、2 階は北棟渡り廊下と仮設校舎との間に渡り廊下を設ける。

委員：上段運動場を使用する部活が、恒久仮設のトイレを使用できれば利便性に富むと考える。

委員：部室改築期間中の部室はどうするのか。

事務局：大通り造成と合わせて部室付近の擁壁の改修を行うため、部室の解体が必要と見込まれる。その為初期段階で部室改築を行う想定であり、部室の規模及び配置は検証中である。

委員：擁壁改修の際に体育館東側の植木も撤去できないか。

事務局：検討する。

委員：紙書類の保管場所を設けてほしい。

事務局：他の学校では事務室内に設けている為、保管場所については事務室内に設ける方針として検討している。

委員：一足制から二足制に切り替わるタイミングはいつになるのか。

事務局：現在検討中である。

委員：学校敷地と古墳群の境界を明確にしてほしい。

事務局：どこまで着手できるか定かではないが外構整理を行う際には考慮する。

委員：カウンセリングルームはどこに設けているのか。

事務局：相談室内に設置する想定である。

委員：相談室は、不登校生徒のサポートルームとして活用しており、市内でも大社中学校の利用率は高く、今後も利用者が増えると予測される。

委員：会議室をカウンセリングルームとして兼用するとしても隣室が生徒会室となれば、プライバシーを考慮すると適切な諸室計画に思えない。

事務局：検討のうえ、次回以降提示する。

委員：木工室の上階には室を設けないのか。

事務局：木工室の上階は屋根であり、設けない。

委員：現プランに和室を設ける予定はあるのか、また授業等で使用する場面はあるのか。

事務局：授業等で使用することはなく、特に設ける予定はない。

委員：仮設校舎に図書室は設けるのか。

事務局：解体・改築期間中は西棟北に図書室を移設する予定である。

委員：改築棟と北校舎のフロアレベルに差は生じるのか。

事務局：若干生じるが、改築棟と北棟の接続を検討する際にレベル差の解消について考慮する。車いす等の行き来についてはスロープ処理で検討している。

委員：恒久仮設と校舎の間にもレベル差はあるのか。

事務局：仮設校舎の運用時に西棟北の 2、3 階の昇降がバリアフリー対応とならない為、階段昇降機を設けることで対応をしようと考えている。

委員：民間プールを利用する場合、学校からどこまでの範囲のプールを利用する想定か。

事務局：バス移動で 10～15 分程度の範囲を想定。

委員：北棟改修はどのタイミングで工事を行うのか。

事務局：給食室は夏休み改修、その他の諸室は順を追って改修を想定している。

委員：引っ越し作業については業者に依頼するのか。

事務局：業者に依頼する予定である。

委員：解体、改修を行う頃には仮設校舎は使用可能か。

事務局：可能である。

委員：生徒は仮設校舎のみで一時的に活動をするのか。

事務局：仮設校舎と、北棟、西棟北を使用。

委員：北棟改修の間は北棟を利用することはできないのか。

事務局：仮設校舎建設、校舎建設の流れや二足制に切り替える時期などを踏まえ、詳細検討のうえ、次回以降提示する。

委員：仮設校舎だけで生活を送ることは可能なのか。

事務局：仮設校舎、北棟、西棟北を使用しなければ CR 数の確保や授業を行うことができない。北棟改修の順番については、フロアごとに行うか検討中である。

委員：仮設校舎を使用する間、工事エリアの横を通行して体育館に向かうのか、幅員等の確保は問題ないか。

事務局：工事期間中は工事エリア横を体育館への動線とし、工事エリアは万能鋼板を建設建物にできるだけ寄せることを検討している。

委員：改築校舎の屋上には何か設けるのか。

事務局：太陽光パネルなど設置予定。

委員：断熱材は屋根、天井に整備するのか。

事務局：壁、屋根ともに断熱材を整備する。

委員：天井材は石膏ボードか。

事務局：一般的には石膏ボードを使用する。断熱材の施工法として、天井上部にグラスウールを設置又はコンクリート躯体に貼りつける場合などが考えられるが、施工方法等は今後の詳細設計にて検討と考える。

委員：西棟北は、エアコン等の空調設備を設けずに運用するのか。

事務局：解体校舎のエアコンを西棟北に再利用する等の検討を行う。

委員：図書室の諸室構成は瓦木中学校のようにメディアルームとして設ける計画はないのか。

事務局：瓦木中学校は図書室とPC室を隣接した配置で対応しており、大社中学校の計画においてもメディアルームとして整備することは検討していない。

委員：今回の計画では、甲陽園線沿いの歩道は拡幅するのか。

事務局：現段階では、健全度の観点から甲陽園線沿いの擁壁は改築しない見込みであるため、今回の計画で歩道を拡幅する予定はない。

委員：近隣住民や卒業生等には、どの程度の内容をいつ頃発信するのか。

事務局：パブリックコメントにて校舎配置、大まかな平面図を開示する予定である。

委員：公的な開示以外で、改築する旨を卒業生に伝えて意見をもらうのはどうか。また、既存校舎の解体前に、卒業生の訪問等の機会は設けるのか。

事務局：検討する。

### 3 今後の予定

- ・ 次回の推進委員会は令和6年11月29日（金）に開催予定。